

営繕積算システム RIBC2 で積算関係図書を作成する 設計・積算事務所の皆様へ

平素は本市営繕行政の推進にご尽力いただき、厚くお礼を申し上げます。

本市が発注する建築・建築設備工事設計業務の積算関係図書一式の作成に使用する積算システムを、一般財団法人建築コスト管理システム研究所が開発・運用している「営繕積算システム RIBC2」（以下、「RIBC2」とします。）に移行することを決定しました。

つきましては、RIBC2 で積算関係図書を作成する設計・積算事務所の皆様におかれまして、下記のとおり、細目別内訳書の構成を統一するための作成手順にご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

記

1. 別紙明細行の自動挿入について

現在、本市では「公共建築工事内訳書標準書式」の別紙明細書を活用しておりません。内訳書を作成する際は、[新規作成] 画面において [別紙挿入] の✓を外し、別紙明細の自動挿入を解除してください。

(RIBC2 内訳書作成システム操作概要 (神戸市版) P.7 参照)

2. 細目別内訳書における直接仮設工事の入力について

直接仮設工事の細目を作成する際は、以下の手順を順守してください。

(RIBC2 内訳書作成システム操作概要 (神戸市版) P.12 参照)

- ① 細目別内訳書に、「直接仮設工事 1 式」の別紙明細行を挿入する。
- ② 挿入した別紙に、直接仮設工事の細目を行挿入する。

3. 当該工事に適用する単価 (刊行物、カタログ、見積り等) について

刊行物、カタログ、見積りの単価は、見積比較ファイルにより入力してください。

※ 見積単価等は見積分類ごとに比較することができます。同工種の見積比較において、見積単価の見積取得先が異なる場合は、見積分類を任意設定により分ける必要がありますので、ご注意ください。

なお、これにより難しい場合は、本市設計担当者と協議し入力方法を決定してください。

(RIBC2 内訳書作成システム操作概要 (神戸市版) P.16~参照)

以上